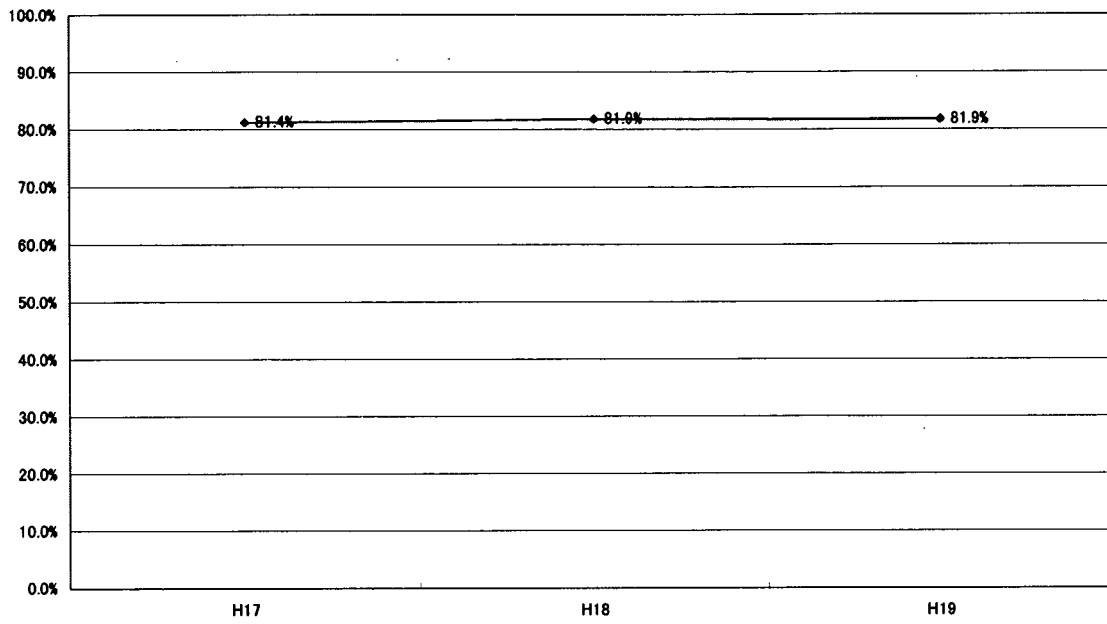
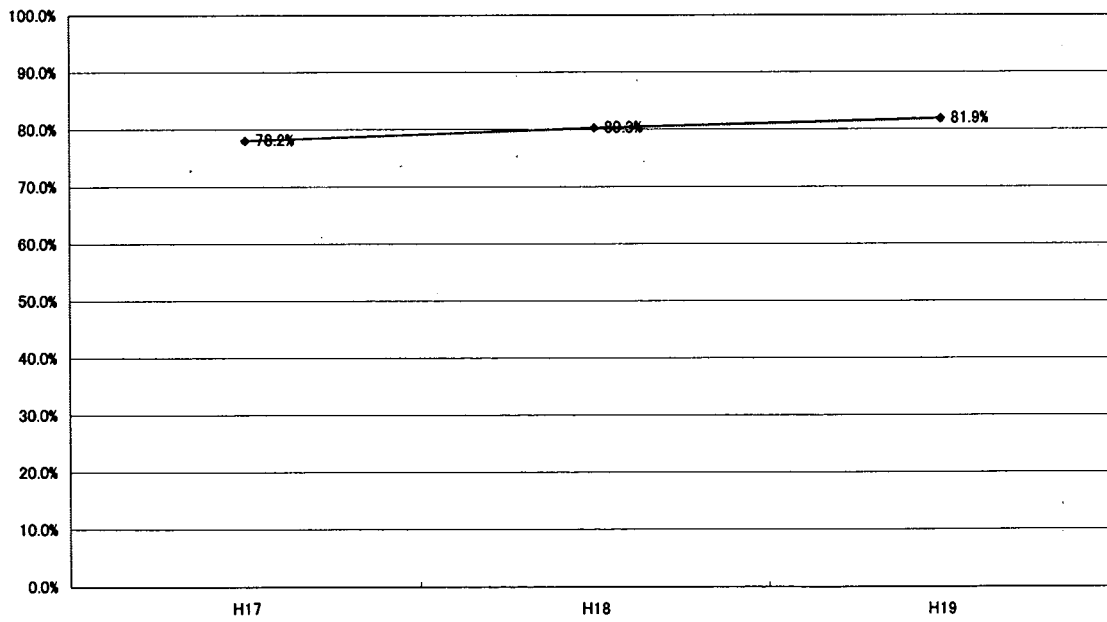


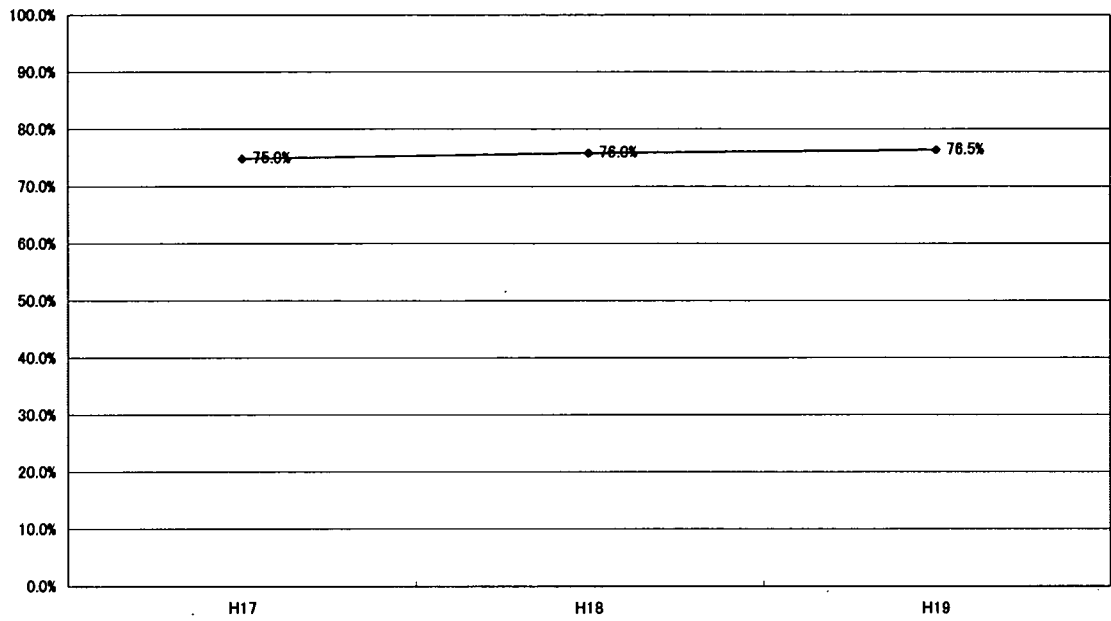
電氣的除細動の適応を挙げ、実施できる



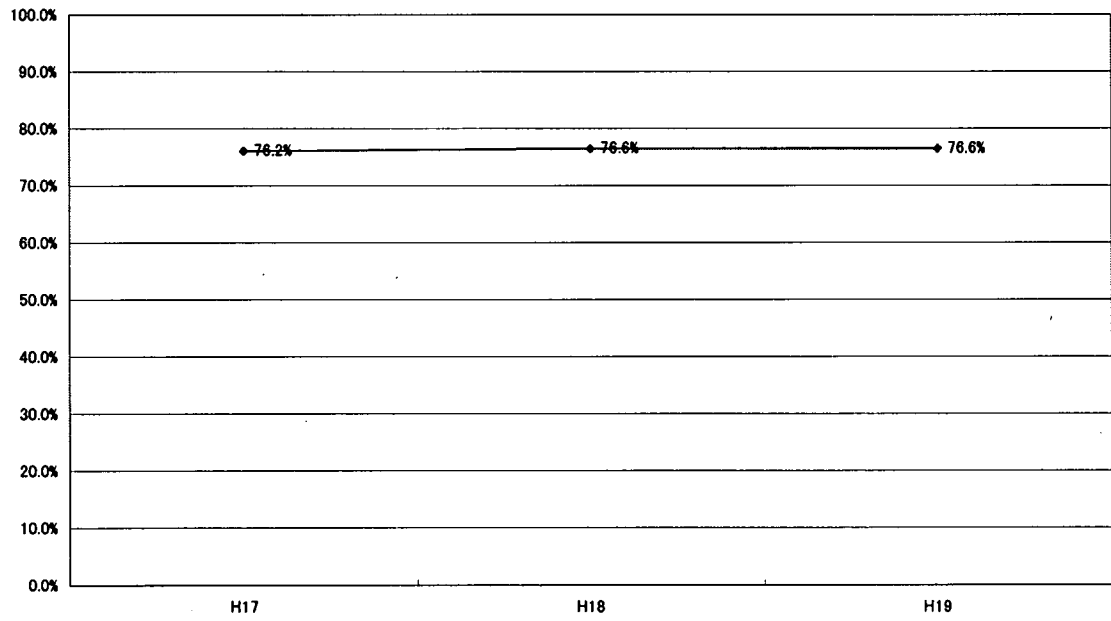
救急患者の重症度および緊急度を判断できる



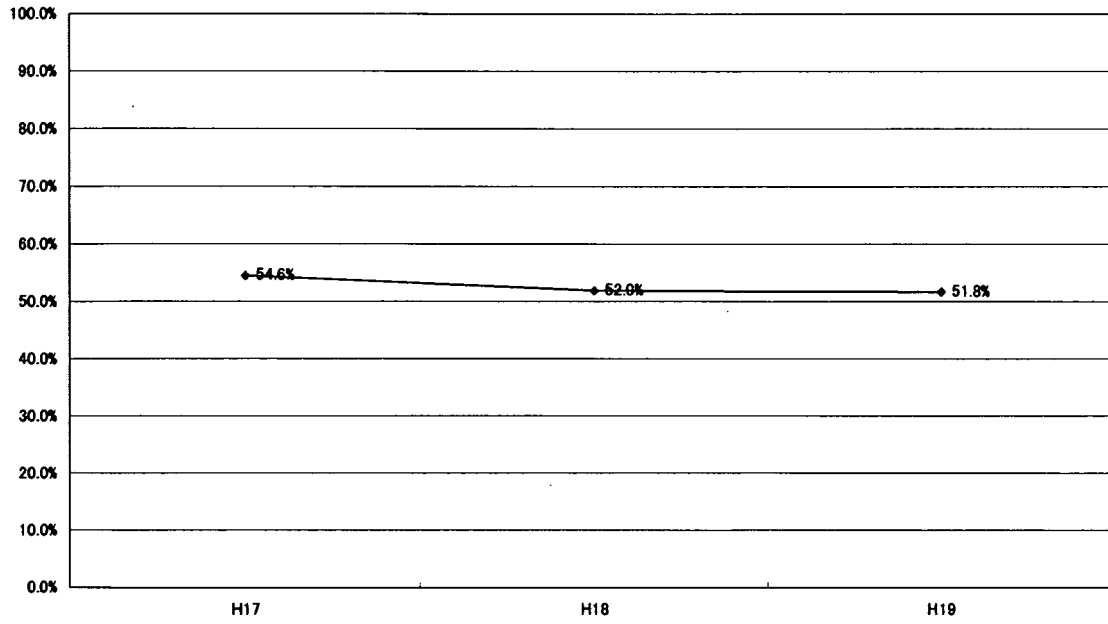
ショックの診断と治療ができる



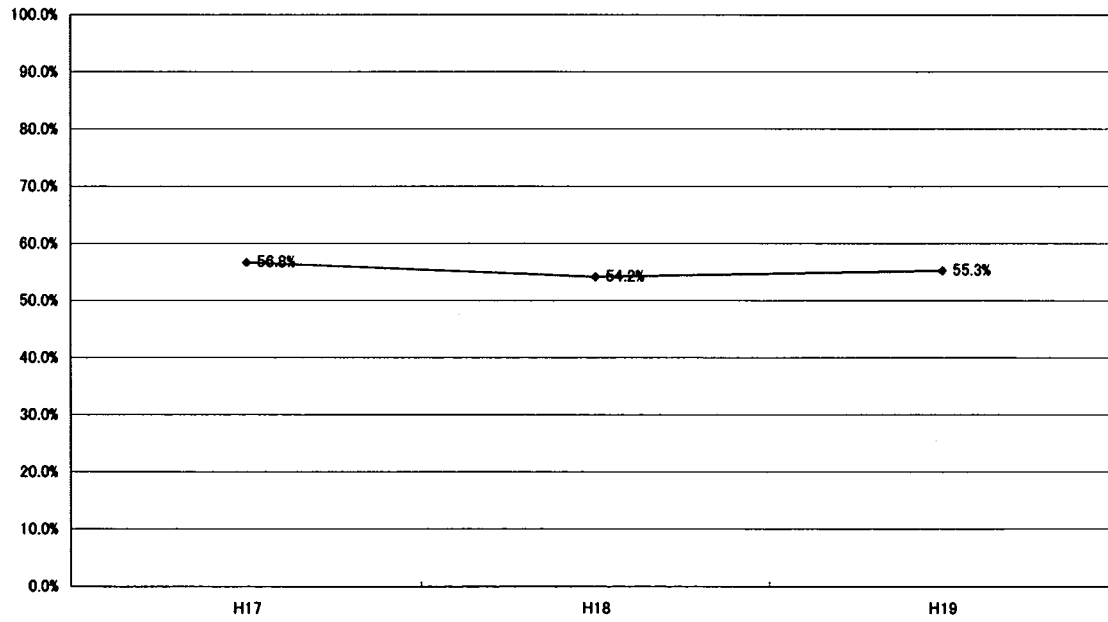
末期患者の家族に病気を説明し、家族の心理的不安を受け止めることができる



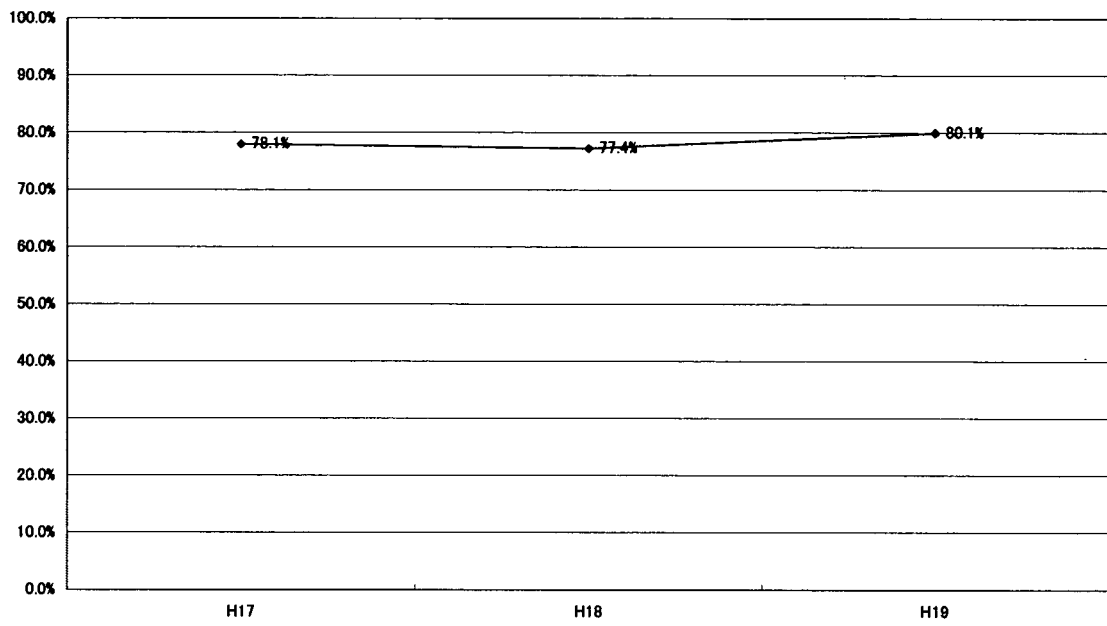
在宅医療を希望する末期患者のために、環境整備を指導できる



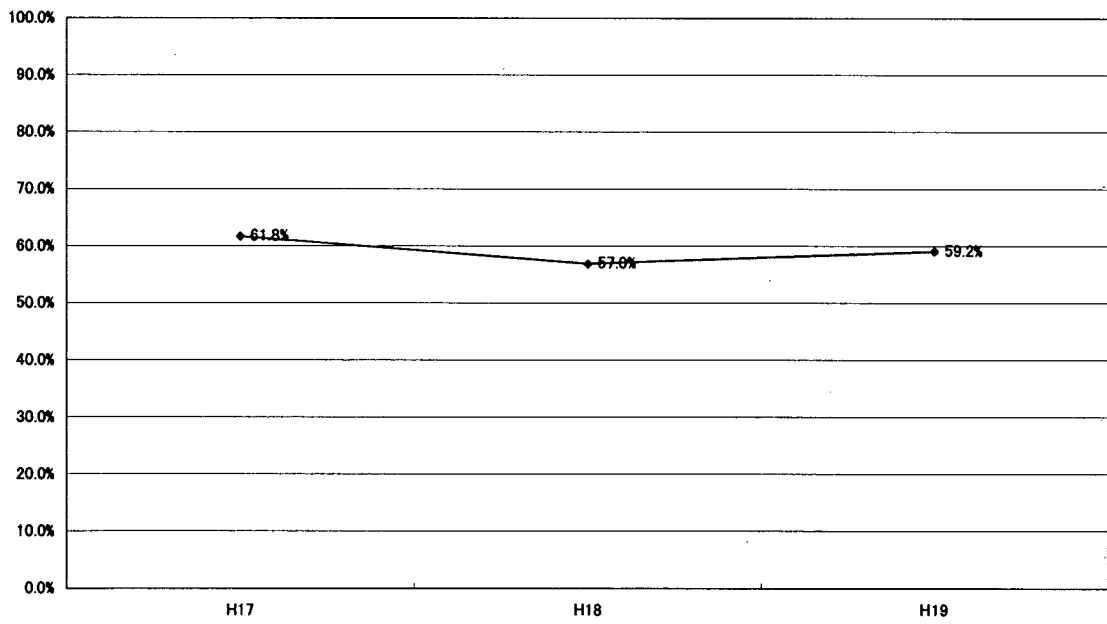
緩和ケア(WHO方式がん疼痛治療法を含む)のチーム医療に参加できる



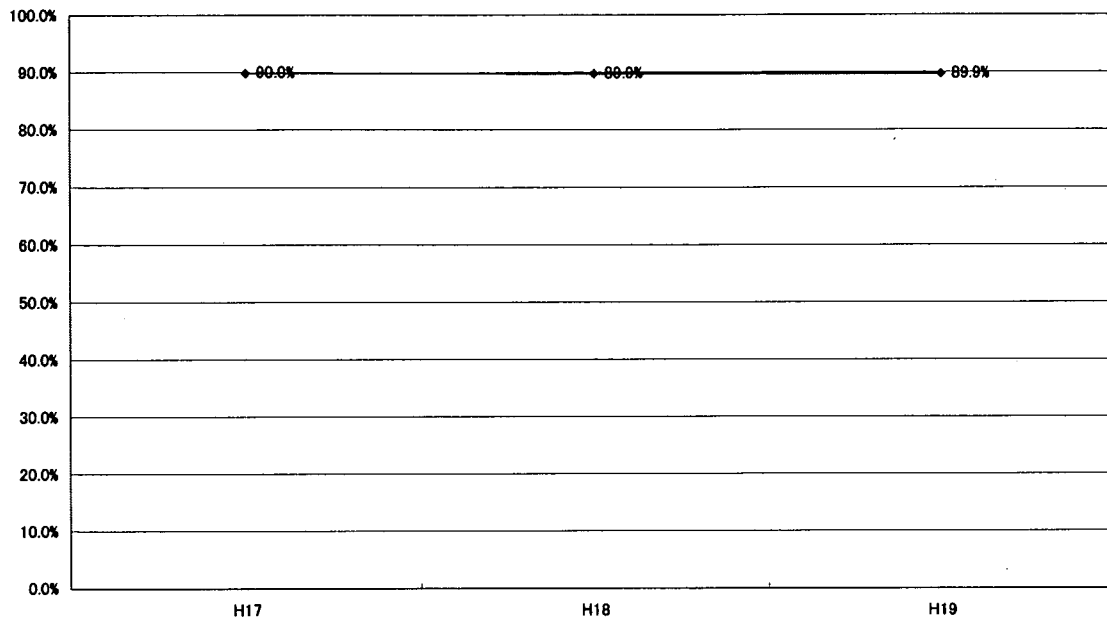
患者の身体的側面だけでなく、心理社会的側面に配慮した治療ができる



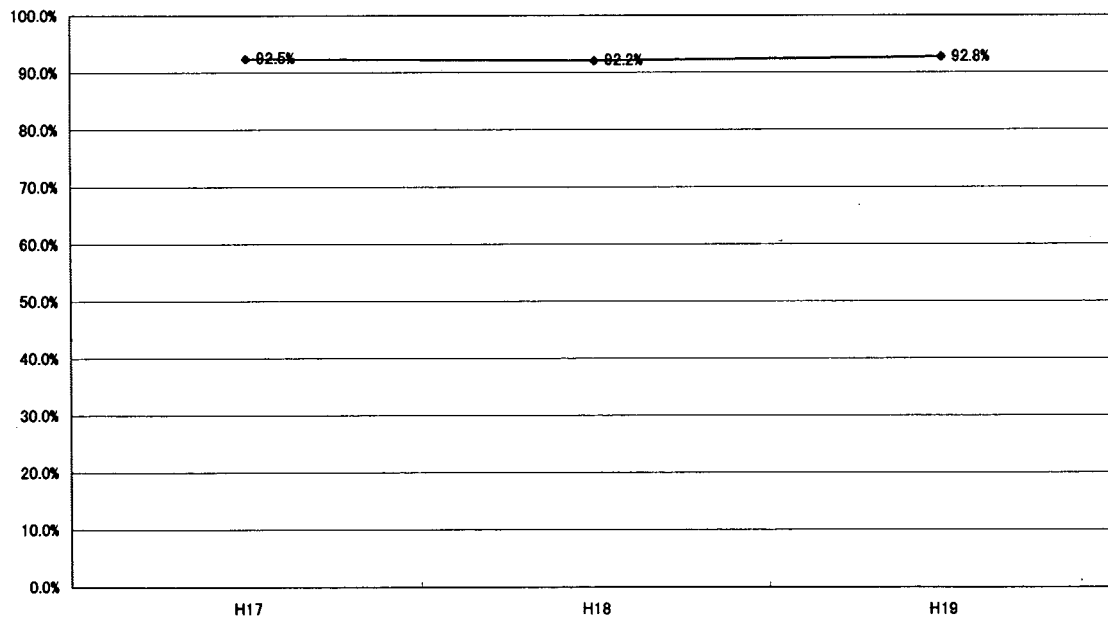
医療費や社会福祉サービスに関する患者、家族の相談に応じ、解決法を指導できる



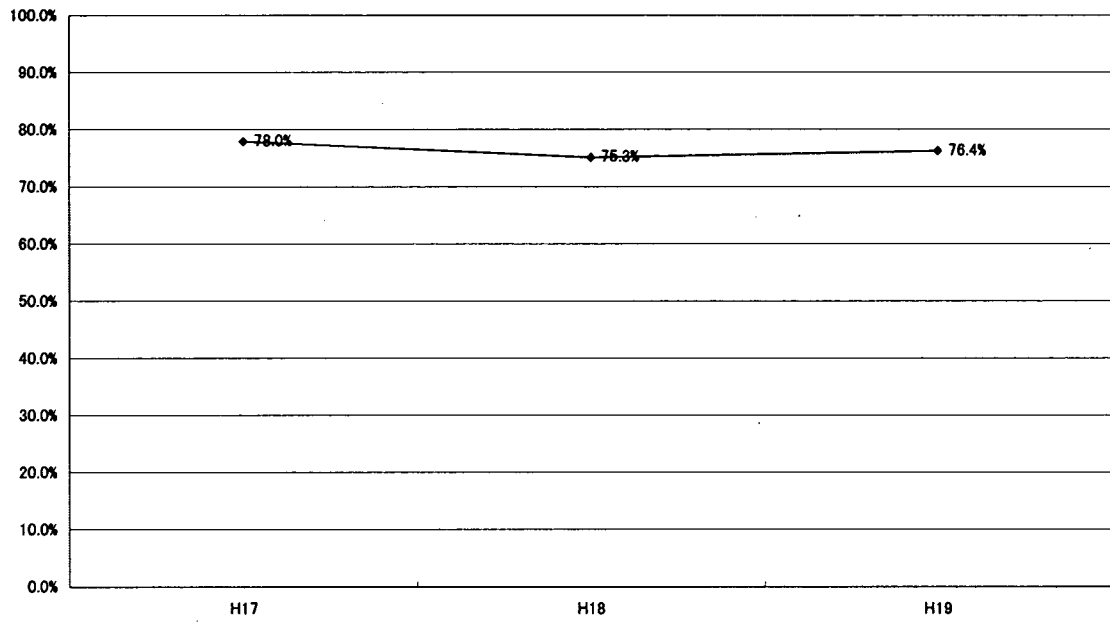
インフォームドコンセントをとることが実施できる



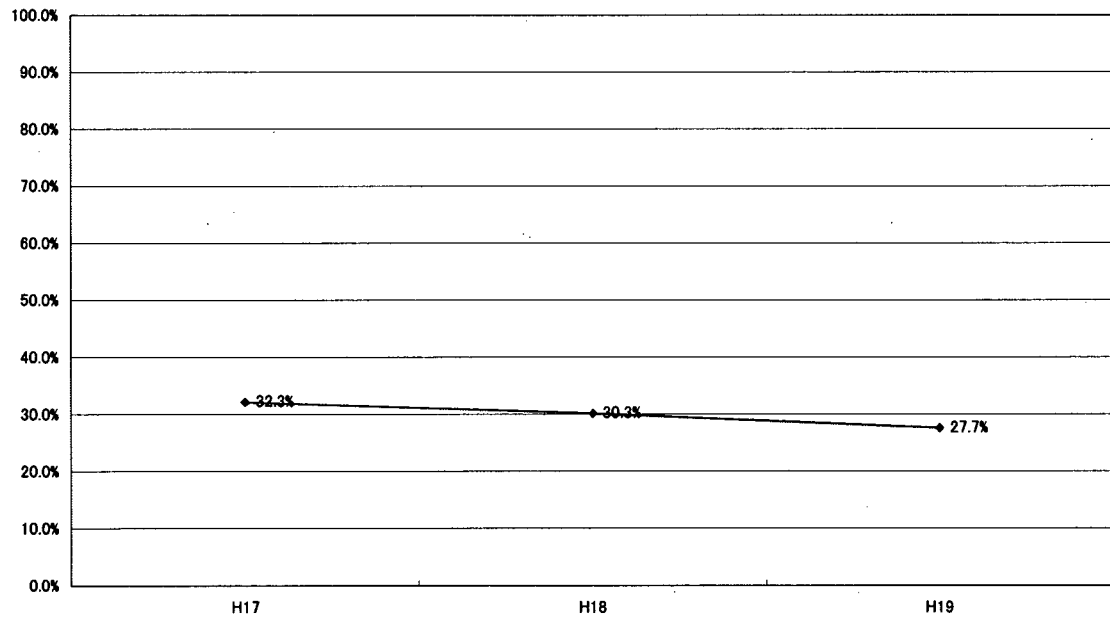
指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる



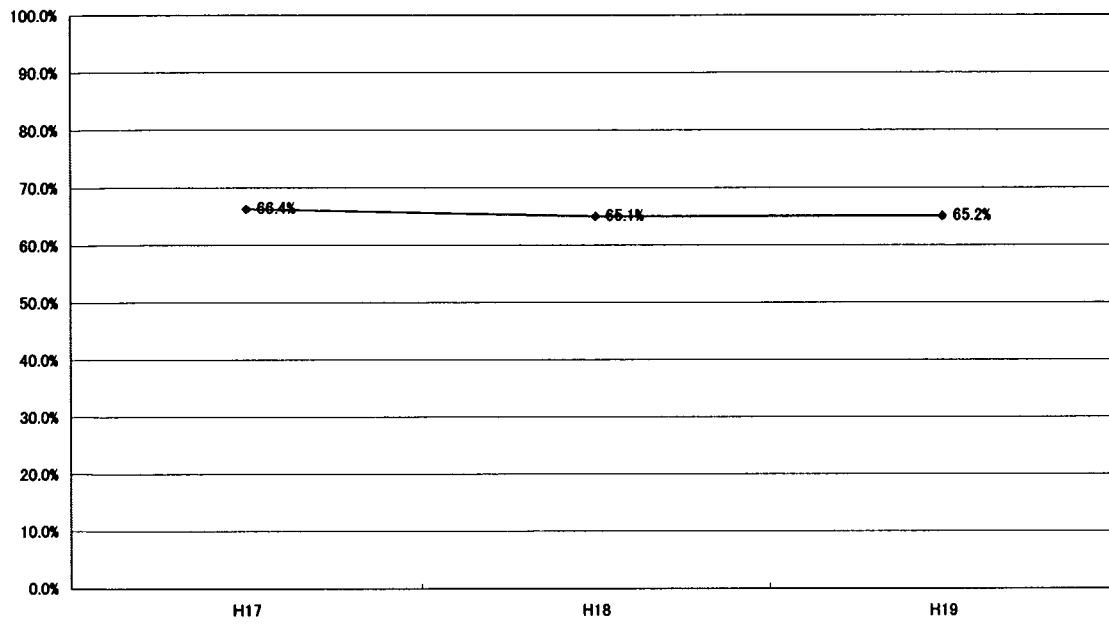
糖尿病患者への健康教育(健康相談および指導)ができる



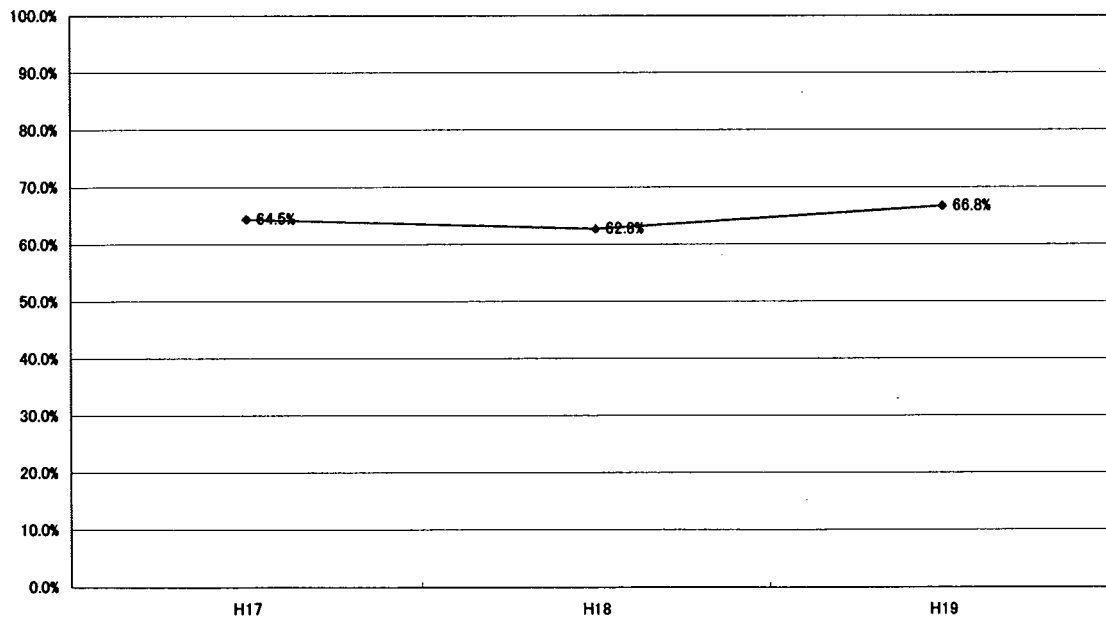
日常よく行う処置、検査等の保険点数を知っている



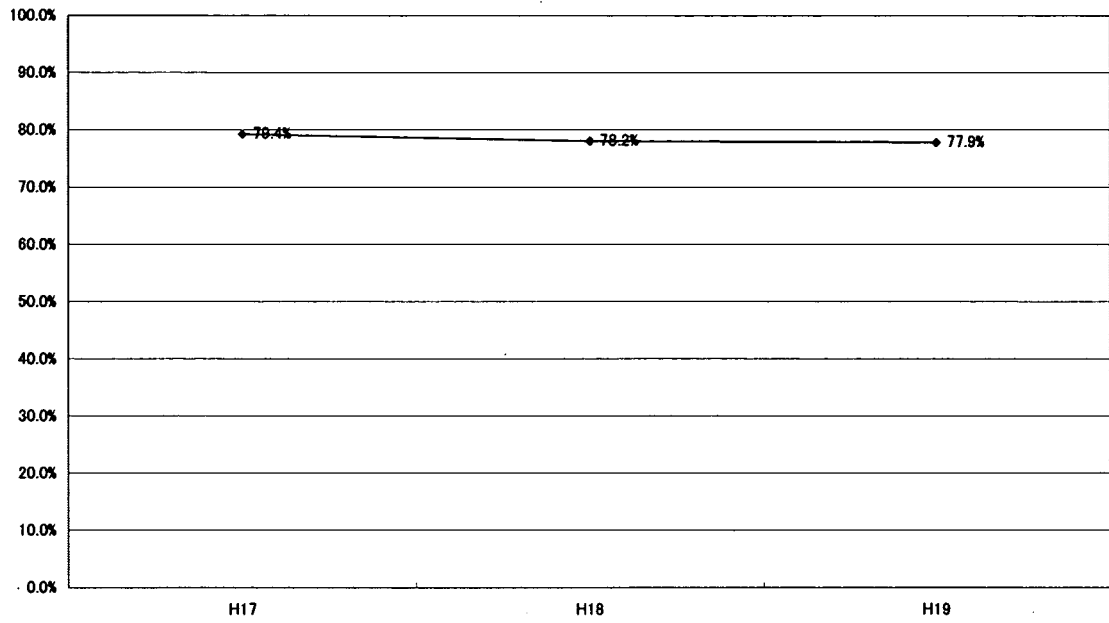
ソーシャルワーカーの役割を理解し、協同して患者ケアを行える



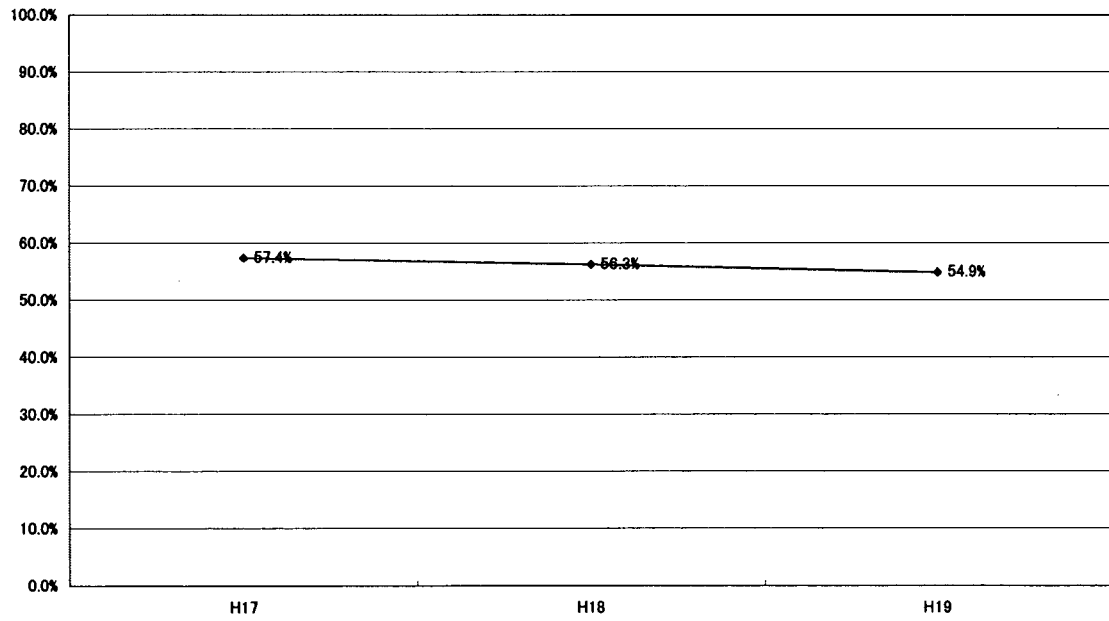
禁煙指導ができる



患者の知識や関心のレベルに応じた健康教育ができる

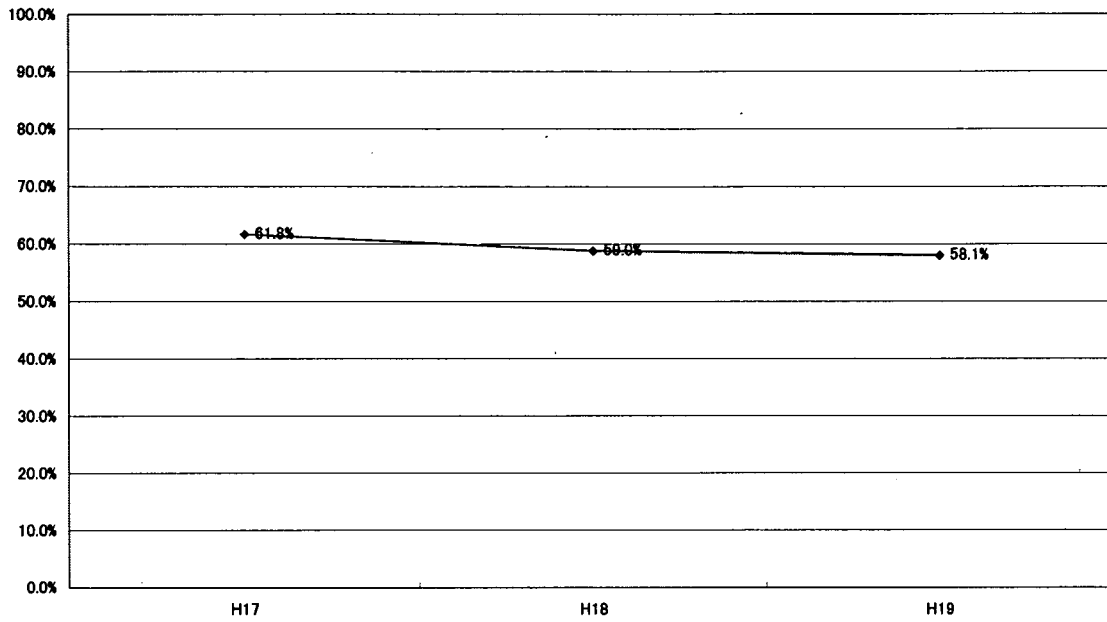


在宅医療の適応の判断ができる

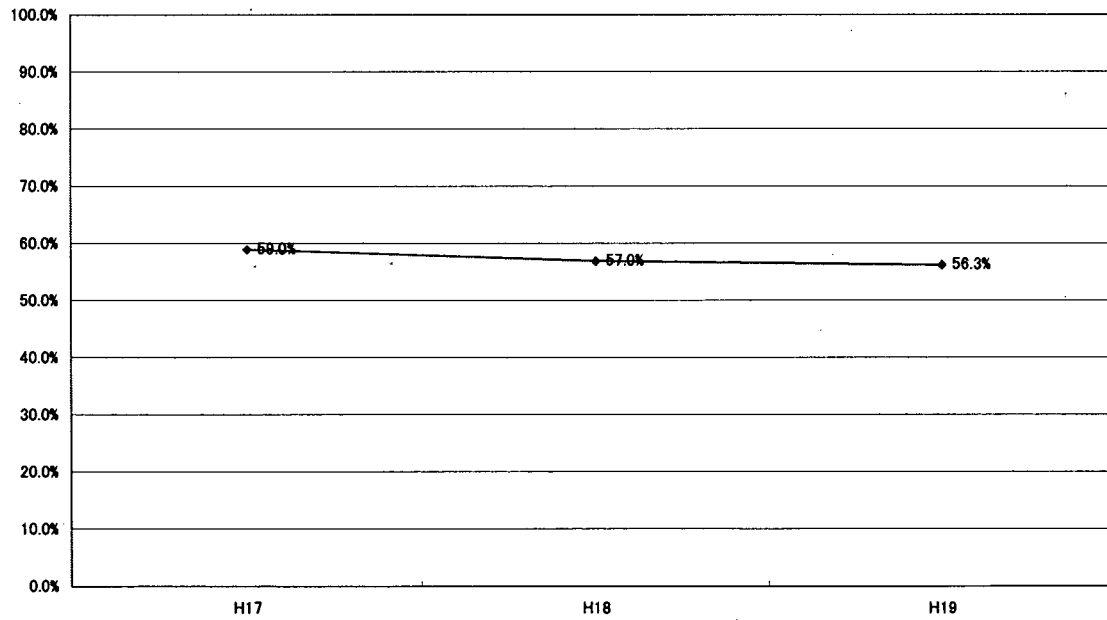




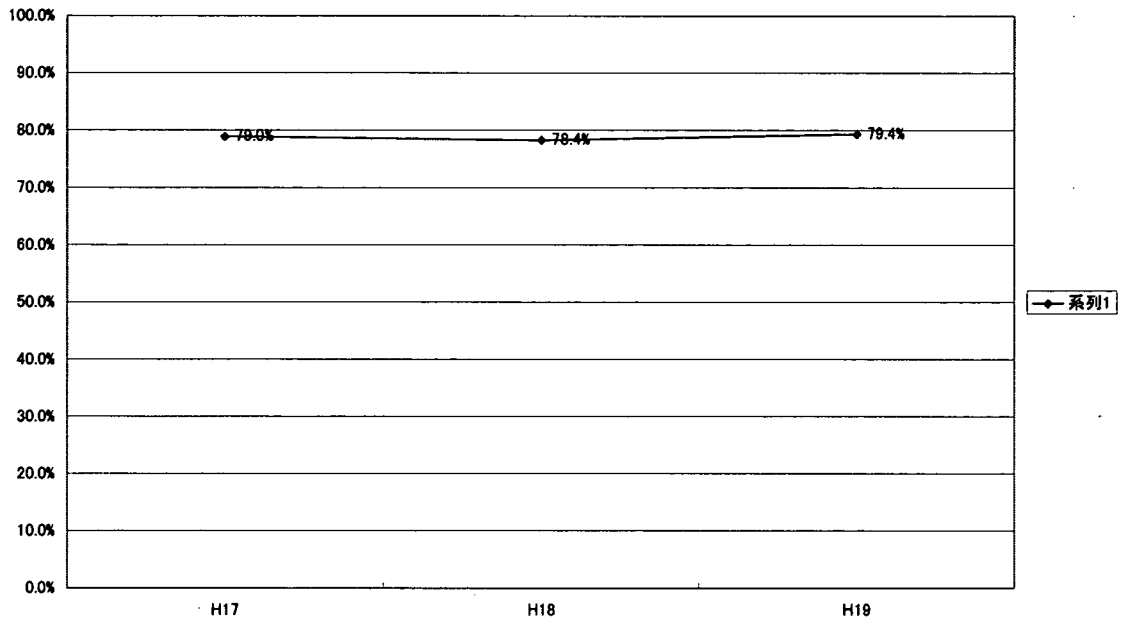
地域の医療資源を活用し、入院患者の退院後も継続性のある医療を提供できるよう調整することができる



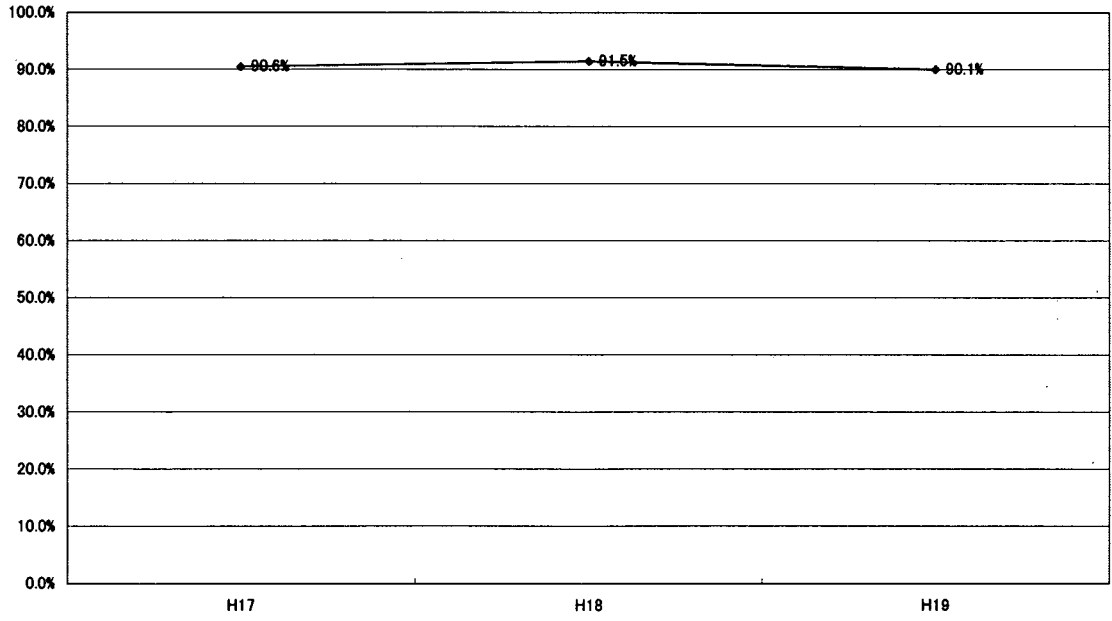
社会福祉施設等の役割について理解し、連携をとることができる



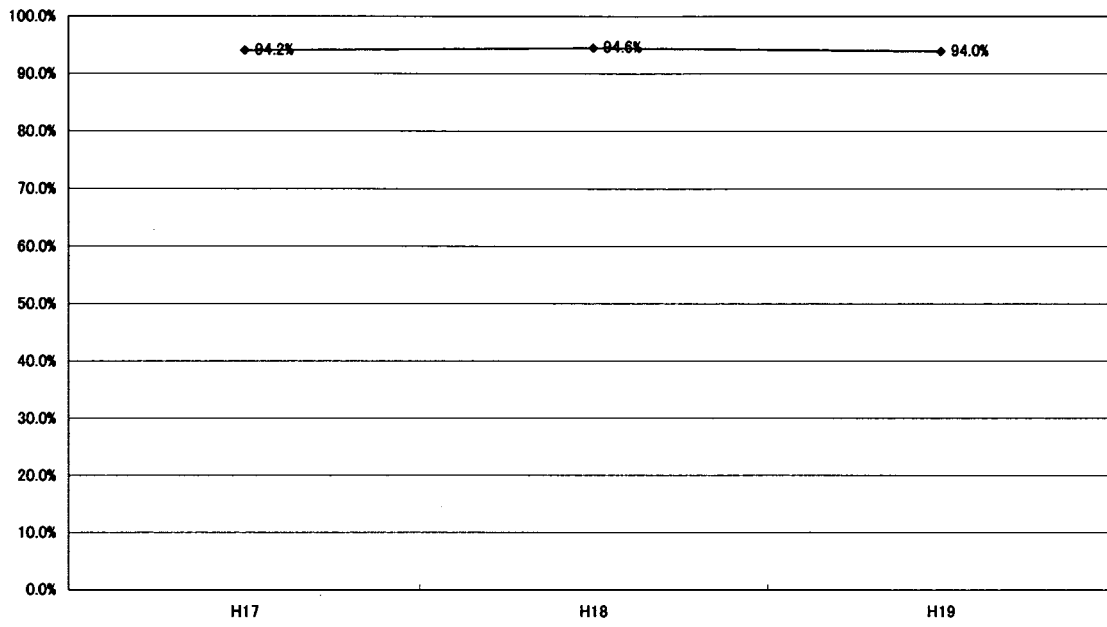
診療上湧き上がった疑問点について、Medlineで文献検索ができる



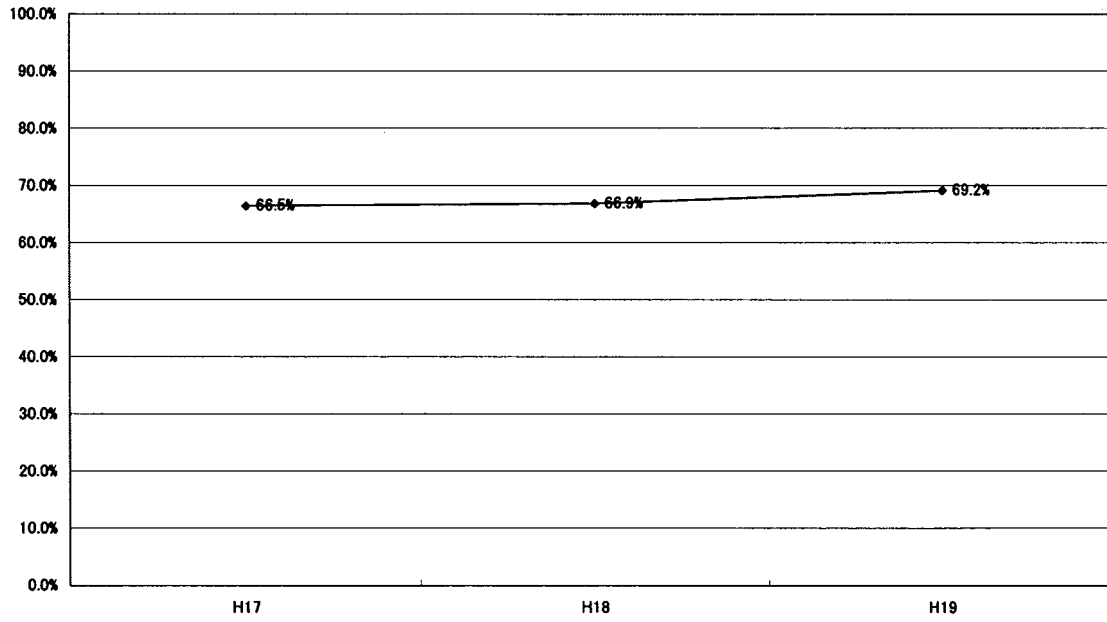
カンファレンス等で簡潔に受持患者のプレゼンテーションできる



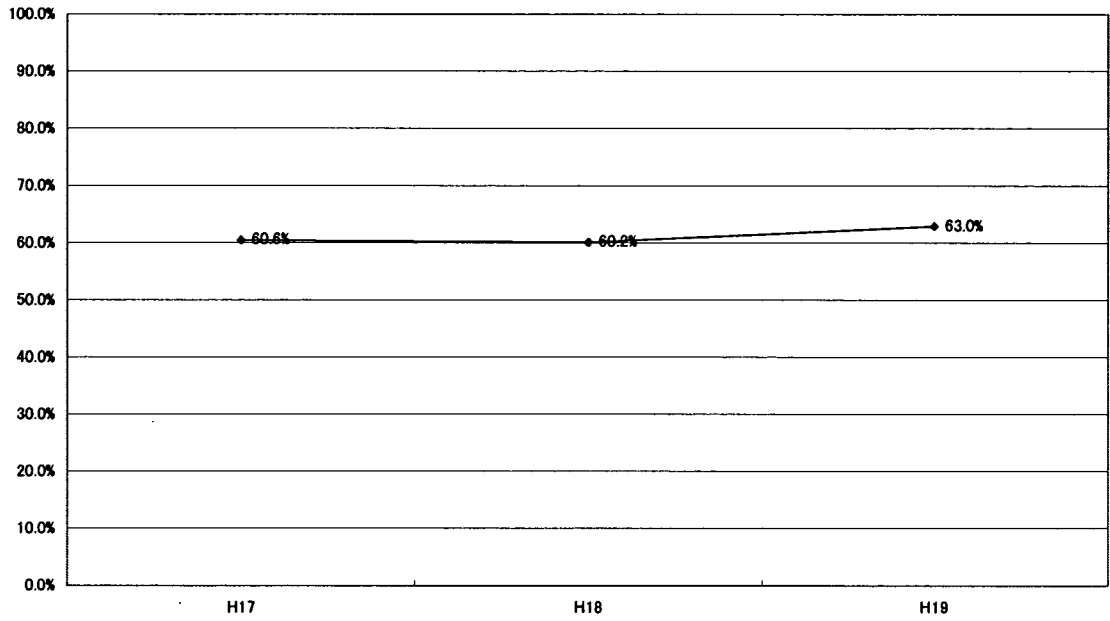
診療録(退院時サマリーを含む)をPOS(Problem Oriented System)に従って記載し管理できる



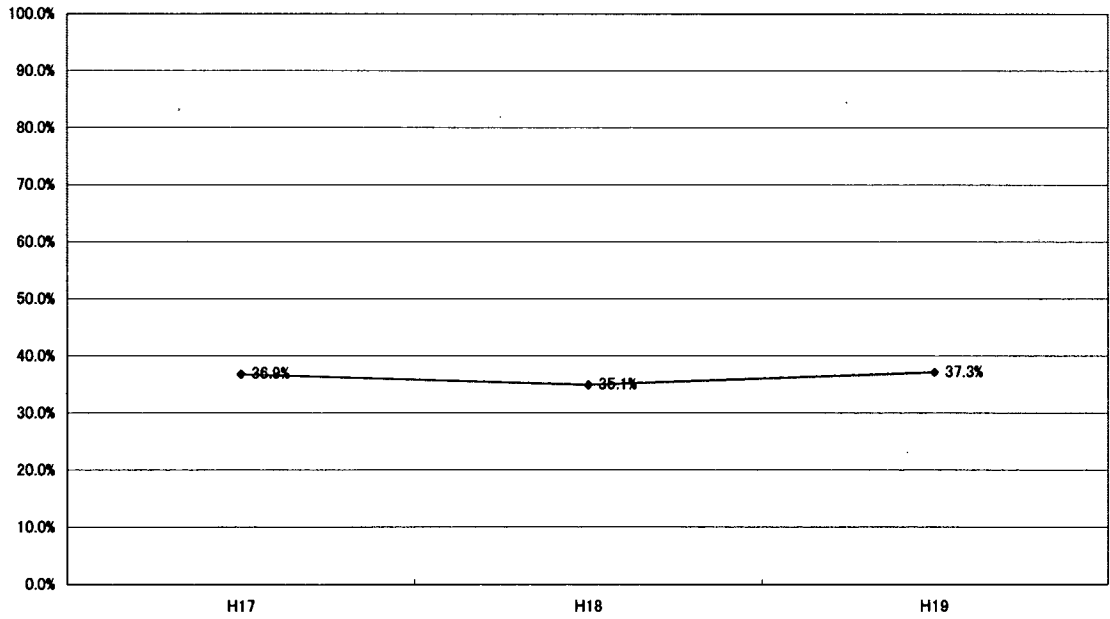
研究デザインを理解して、論文を読むことができる



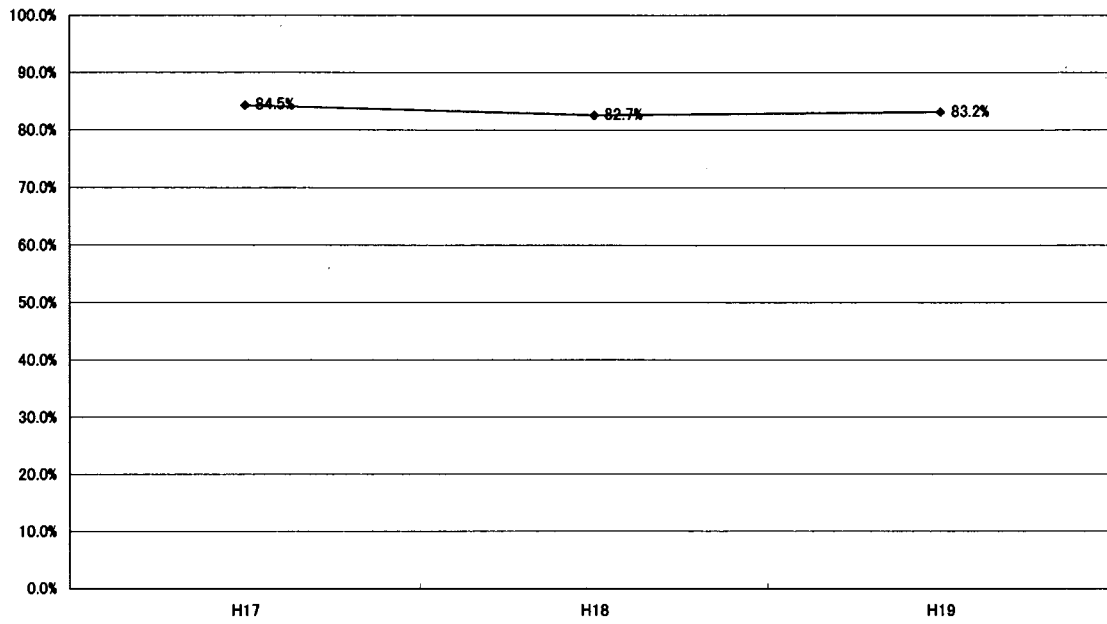
学会で症例報告ができる



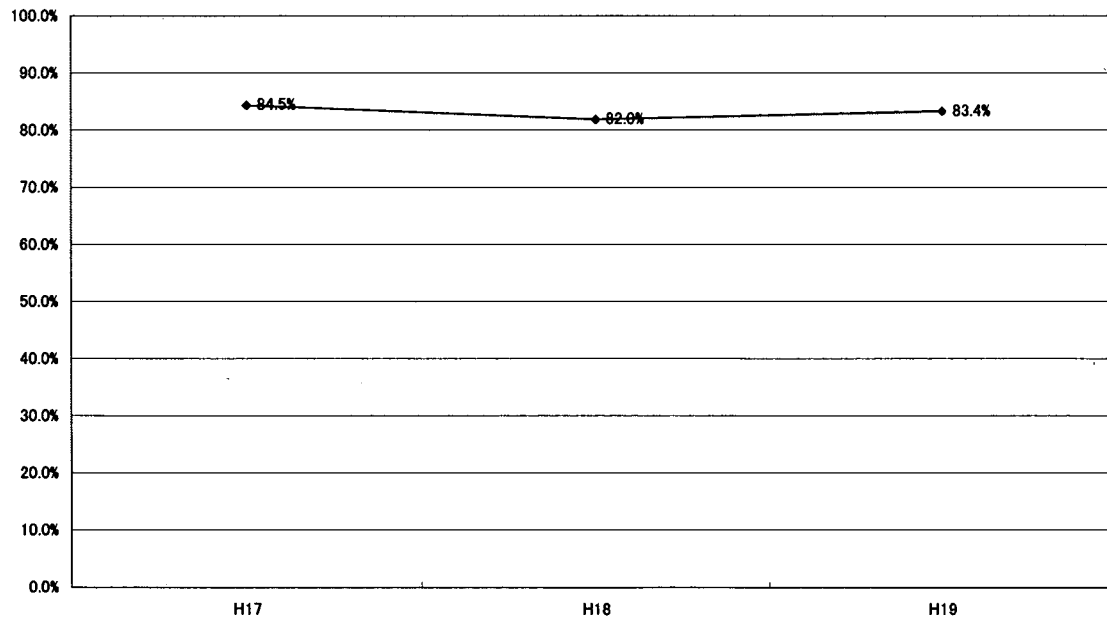
データの種別に応じて適切な統計学的解析ができる



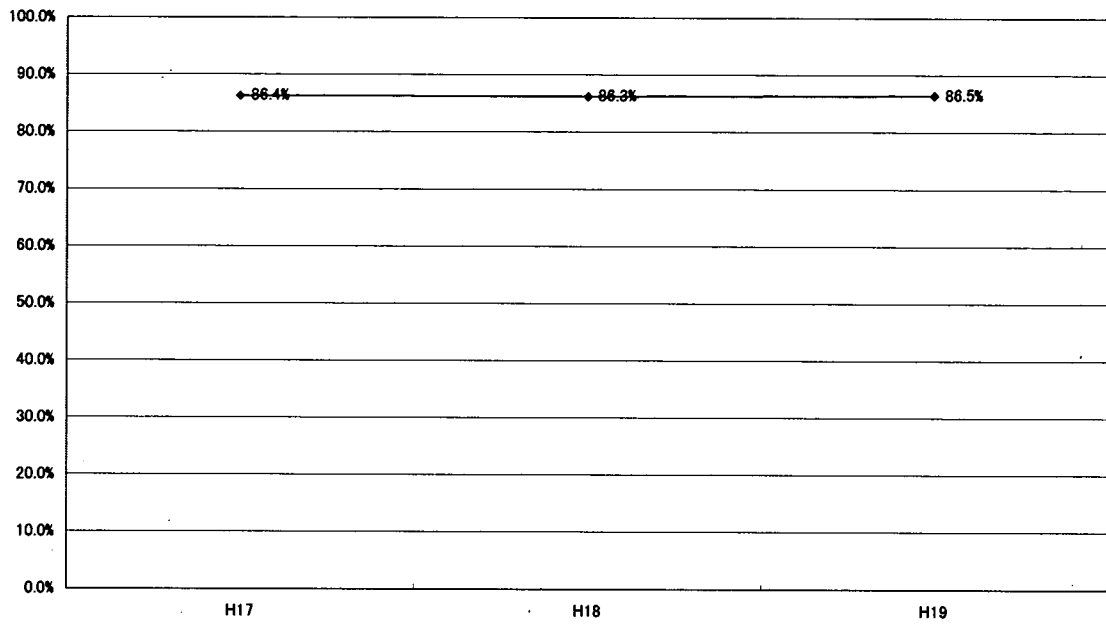
医療上の安全確認の基本的な考え方を理解し、実施できる



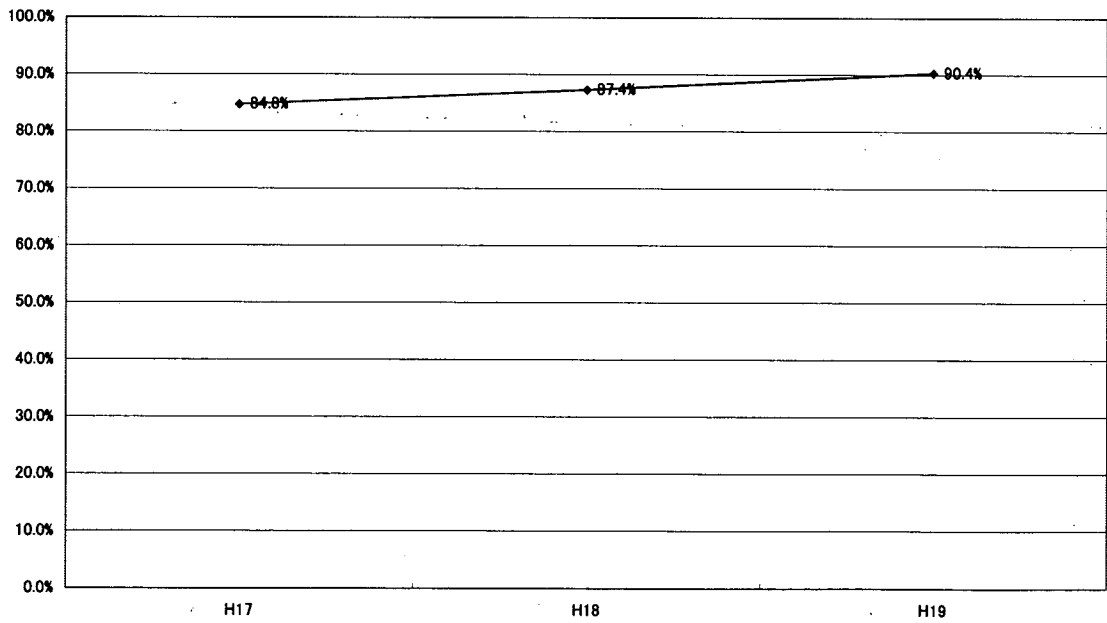
医療事故防止及び事故後の対応について、マニュアルなどに沿って行動できる



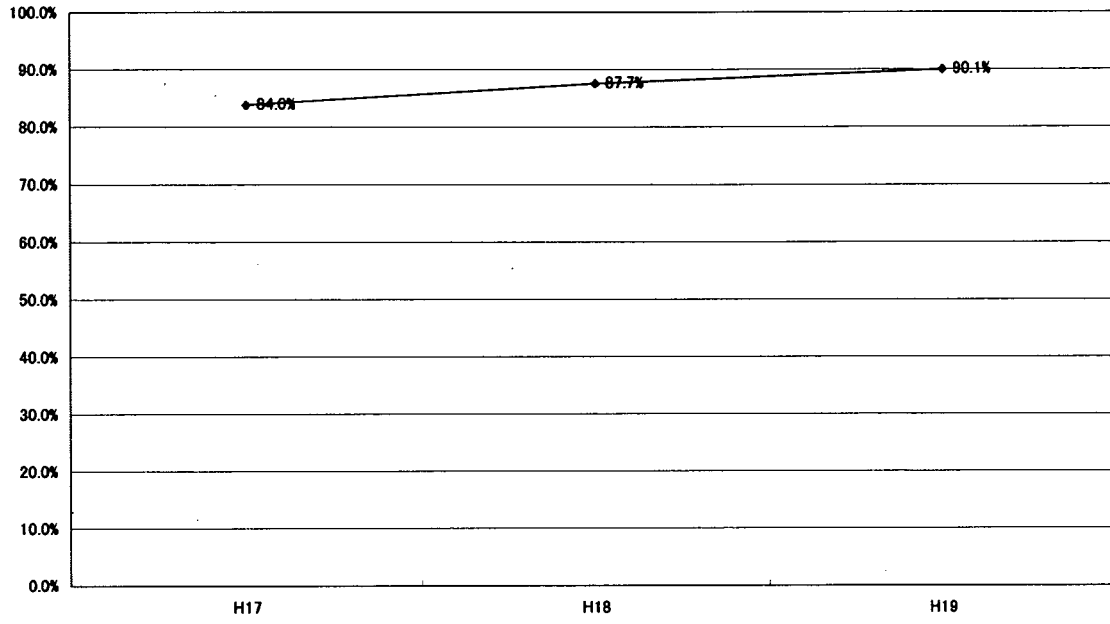
院内感染対策(Standard Precautionsを含む)の基本を理解し、実施できる



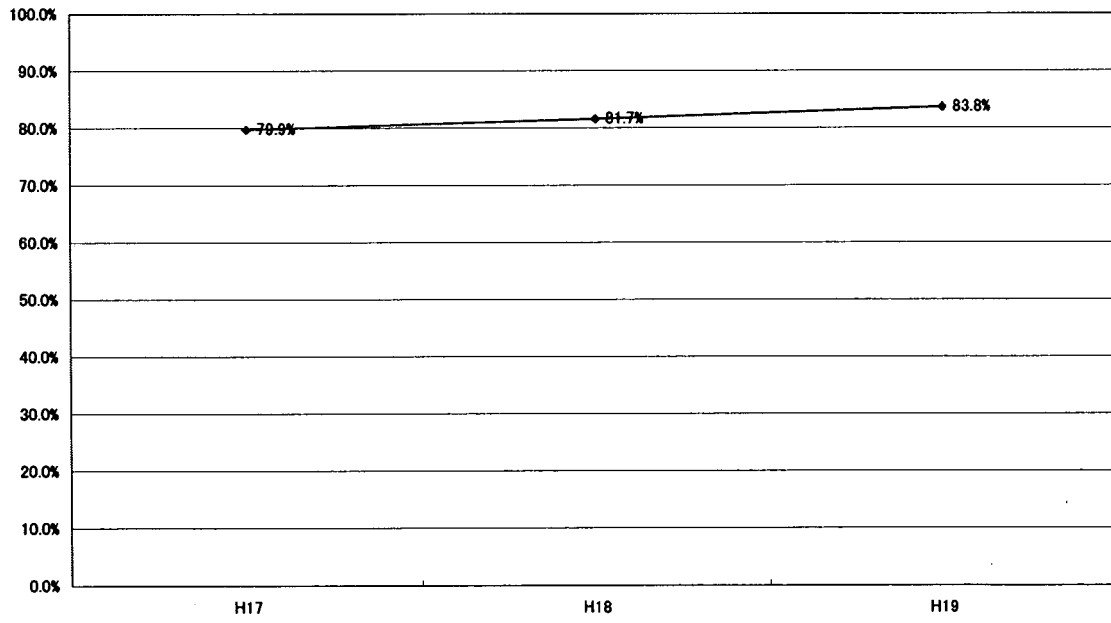
高齢者の聴力・視力・認知面での障害の有無に配慮した、病歴聴取を行うことができる



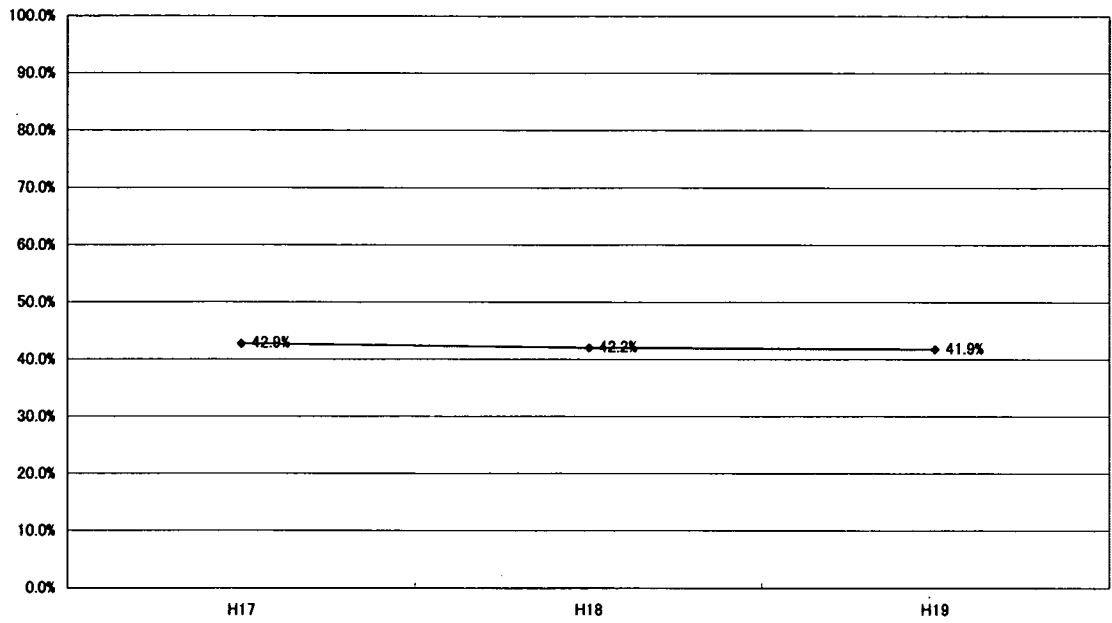
高齢者の症状が非特異的、非典型的であることを理解して、身体所見をとることができる



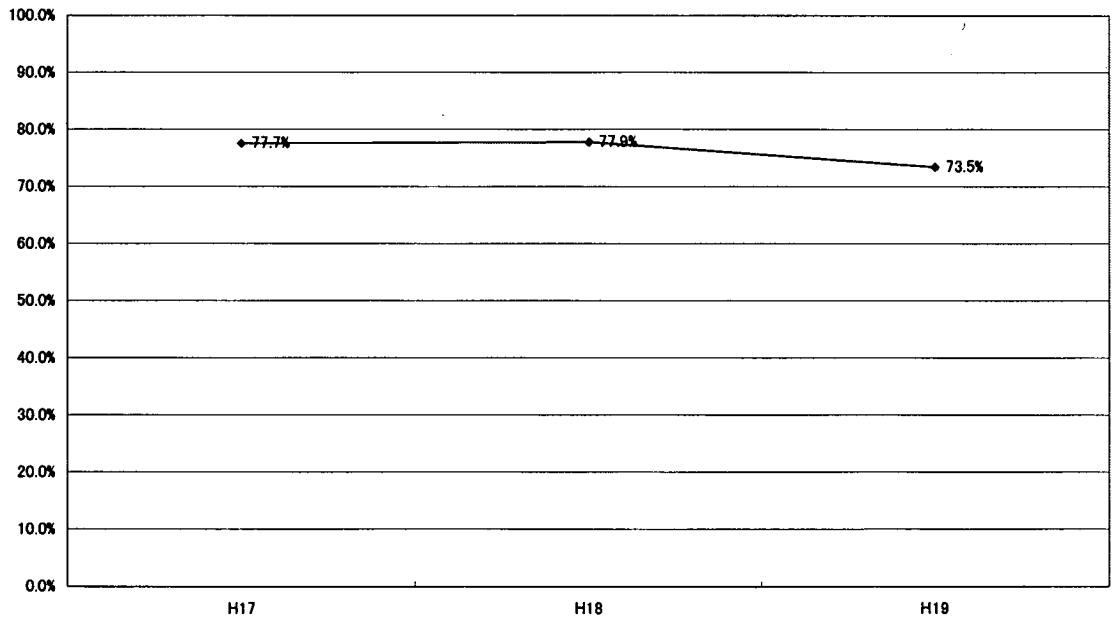
高齢者の身体的、精神的、社会的活動性をできるだけ良好に維持するような治療法を提示することができる



小児の精神運動発達異常を判断できる

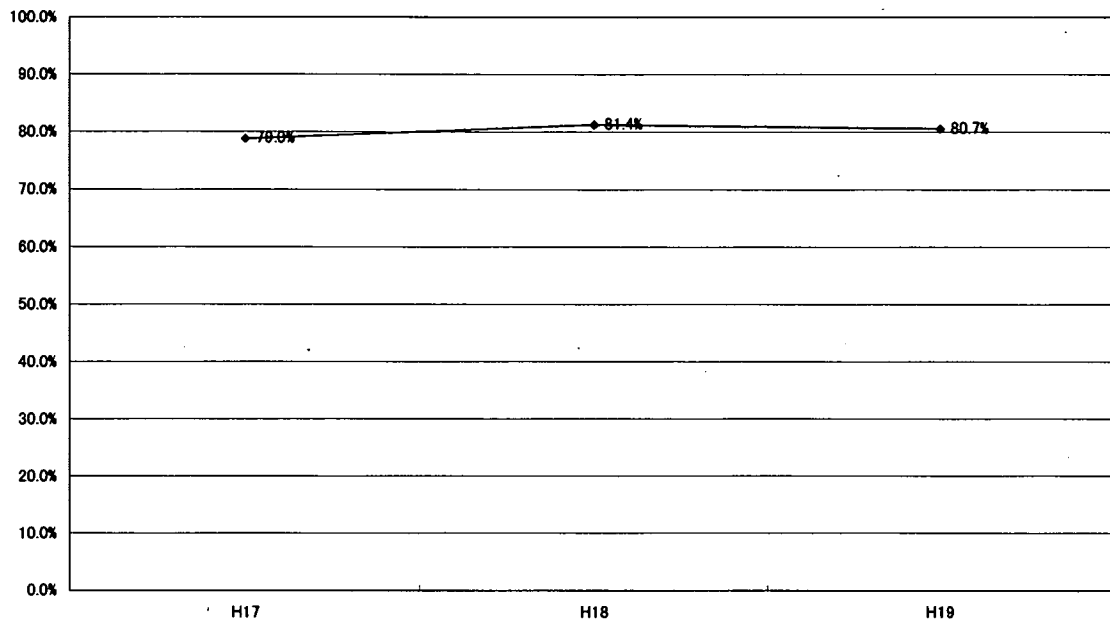


小児の採血、点滴ができる

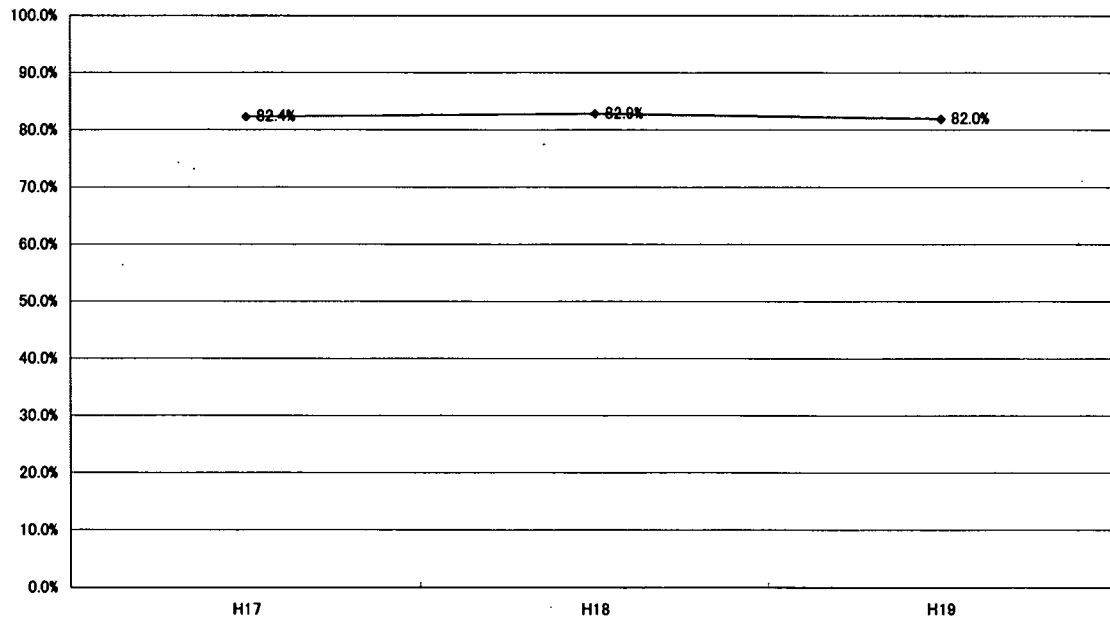




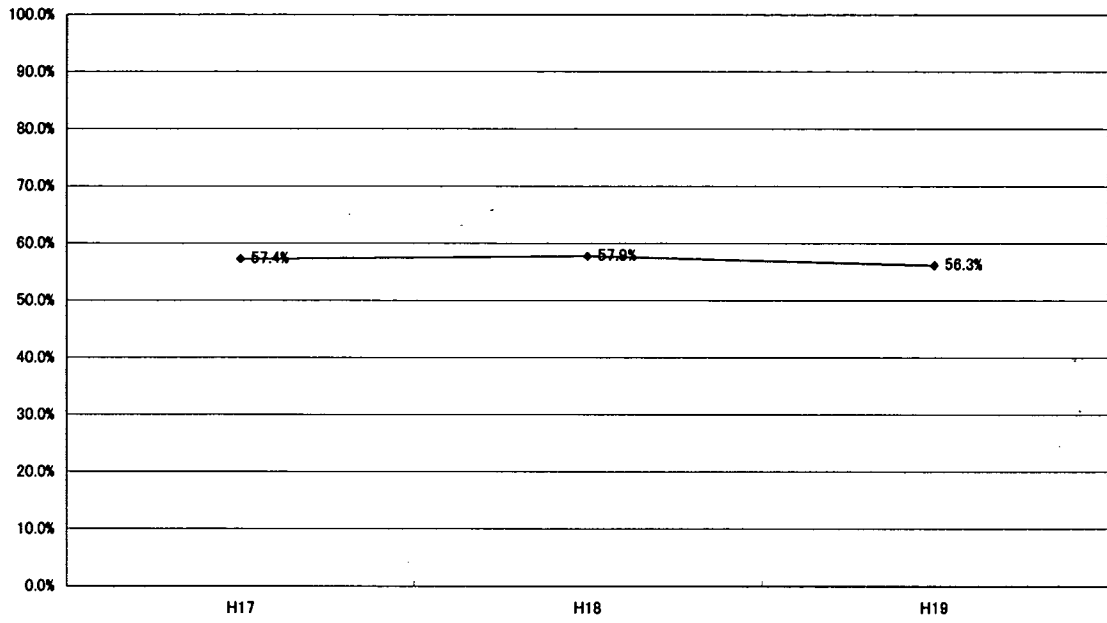
患児の身体的苦痛のみならず、精神的ケアにも配慮できる



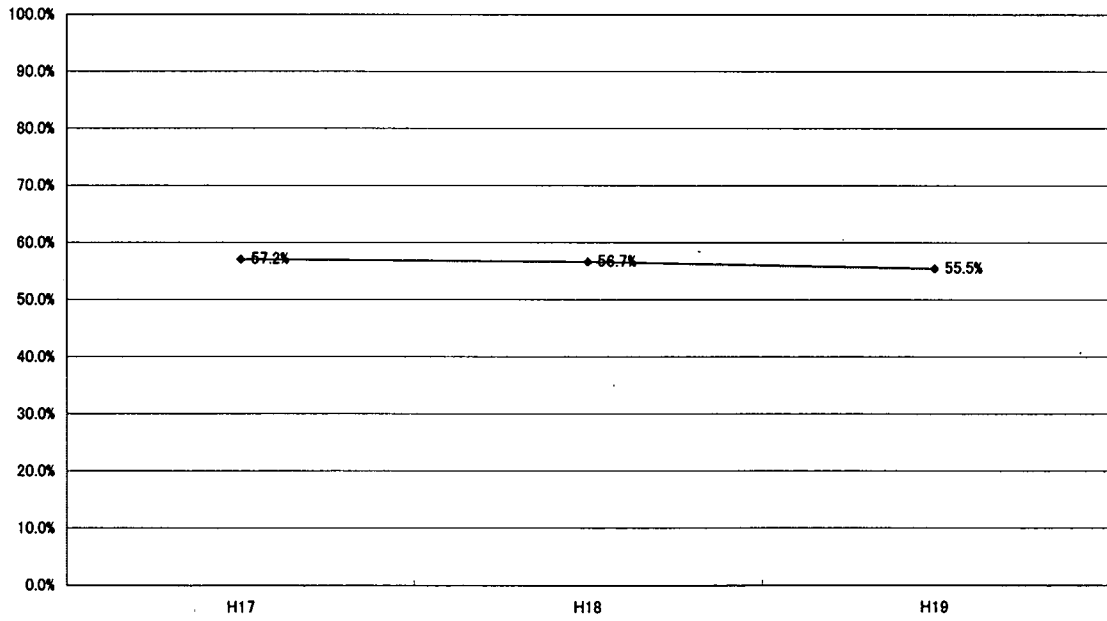
患児の年齢や理解度に応じた説明ができる



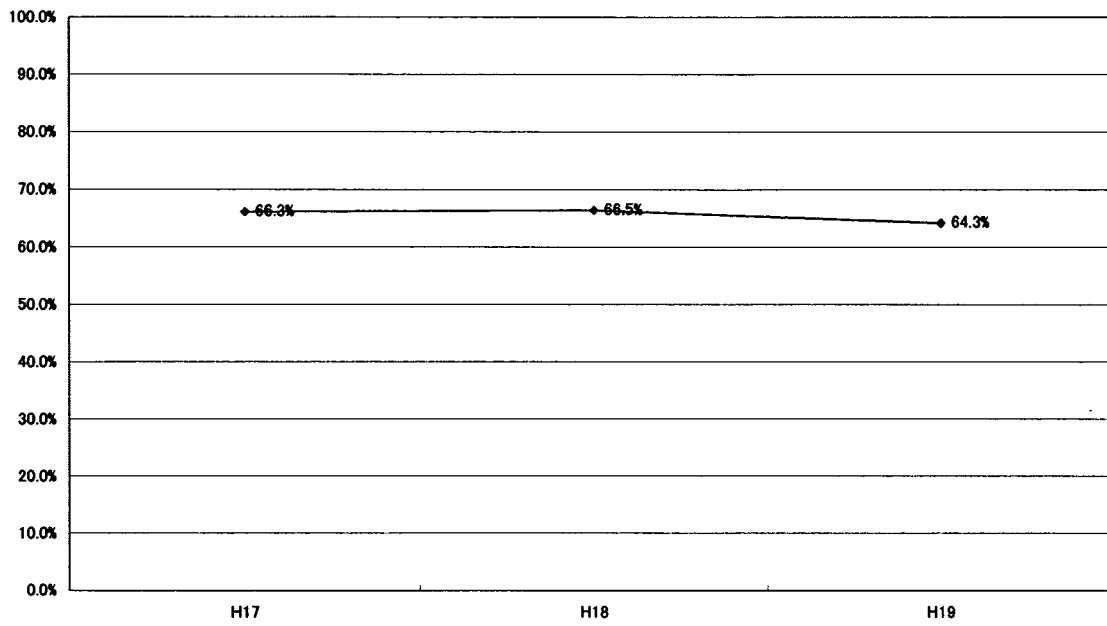
代表的な精神科疾患について、診断および治療ができる



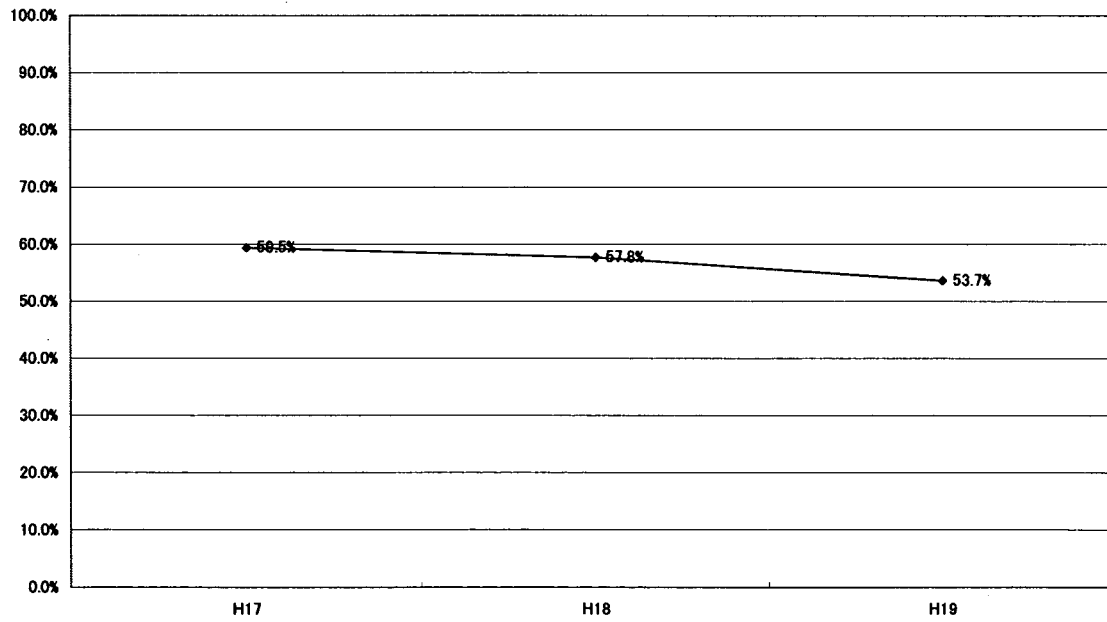
精神科領域の薬物治療に伴うことの多い障害について理解し、適切な検査・処置ができる



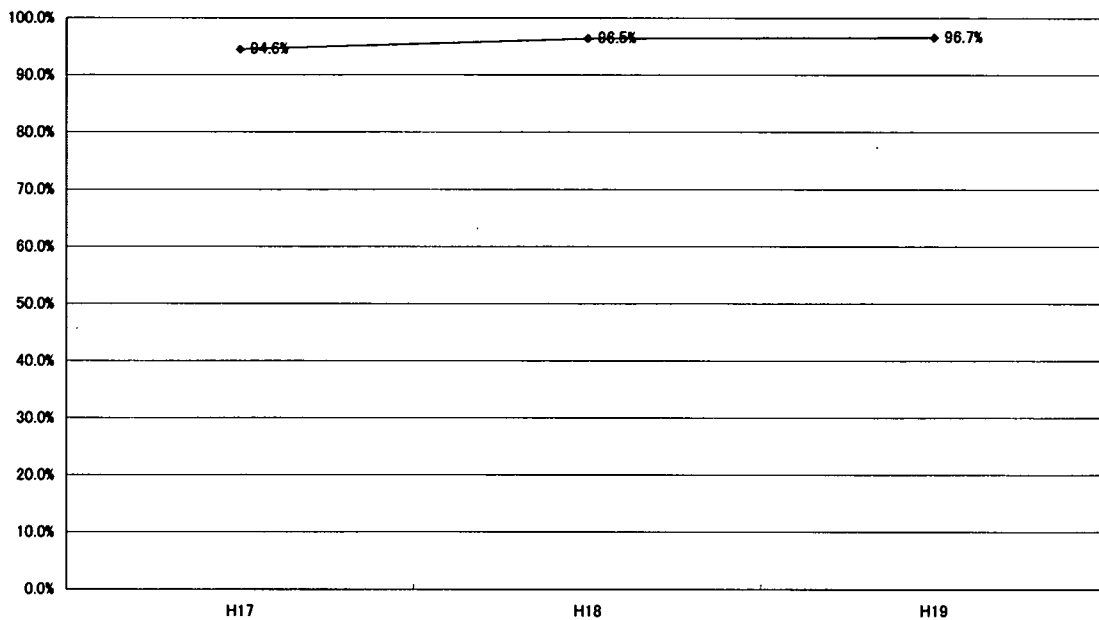
精神科コ・メディカルスタッフ(PSW等)の業務を理解し、連携してケアを行うことができる



地域の精神保健福祉に関する支援体制状況に関する知識を持ち、適切な連携をとることができる



守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる



患者の基本的権利について説明できる

